

## 京都府流域下水道事業経営審議会第5回調査部会（開催結果）

- 1 日 時 令和6年5月29日（水） 午前10時～午前10時45分
- 2 場 所 ハートンホテル京都 嵐山の間
- 3 出席者 委 員 田中部会長、中筋委員、藤木委員（3名中3名出席）  
宇治市（参考人） 山田上下水道部長、塚本上下水道総務課長 他  
京都府 西村建設交通部技監、長谷川下水道政策課長、  
高橋下水道政策課参事、吉本流域下水道事務所長 他

### 4 結果概要

- 流量計測等に対する疑義の再発防止に向けた改善策について、将来的な展望を含めて議論し、取組の方向性として適当なものと評価された。
- 調査審議結果は事務局案が承認され、京都府流域下水道事業経営審議会において報告することとなった。

### 5 主な委員意見

- ・ 市町への流量計測情報等の提供にあたって、流量に疑義がある時の申し出の仕方や対応手順を決めておけば、より実効性を持たせられるのではないか。
- ・ 理想として、流量計測情報をクラウドで市町も随時閲覧できるシステムの構築や、AIによる流量計測異常の検知を行うことができれば、市町もより早期に流量異常に気付けるようになるのではないか。
- ・ 流量変動原因の検証をより行いやすくするため、流量データや管内貯留時の水の流れ、計測誤差の発生要因等の分析に係る専門家からの支援体制の構築等も検討してはどうか。
- ・ 調査審議結果（事務局案）については異議なし。

# 京都府流域下水道事業経営審議会

## 調査部会 調査審議結果

### 1 問題提起の背景

- ・京都府流域下水道では、管渠の流域関連市町界等に流量計を設置し、これにより計測した下水流量を元に算定した、市町別排水量（以下、「確定水量」という。）の割合に応じて、流域下水道の維持管理負担金を各市町が負担している。
- ・令和元～3年度の確定水量について、宇治市は大幅に増加した一方、隣接する久御山町は減少しており、これらは相互に関係しているのではないかと宇治市から疑義があり、流量計測の信頼性等について問題提起された。

### 2 問題提起の内容

- ・流量計測に問題があり、久御山町にカウントされるべき流量が宇治市にカウントされたのではないか。
- ・流量計測の問題でないのであれば、宇治市と久御山町の確定水量が増減した理由を示して欲しい。
- ・流量計測誤差が許容範囲内であっても、誤差に偏りがあるのであれば、負担の公平・公正の観点から、是正措置を講じることが適切ではないか。
- ・同様の疑義の再発を防止するため、部会における議論を今後の改善に生かすことが大切ではないか。

### 3 調査審議結果

- ・流量計点検結果に異常はなく、管内貯留時においても不正確な計測値は除外されており、事前に定めた規則に基づいた流量計測値となっている。従って、流量計測の問題が宇治市確定水量の大幅な増加につながっていると判断する根拠は見当たらない。
- ・宇治市の確定水量が増加した点については、雨天時浸入水の増加、下水道無断利用者からの排水量増加、地下水の流入増加、流量測定誤差等が考えられ、降雨や新型コロナウイルス感染症拡大の影響、大規模事業者の接続状況、水道配水量との比較等を調査したが、その要因を特定するには至らなかった。一方、久御山町の確定水量が減少した点については、町域の水需要の特徴から、新型コロナウイルス感染症拡大での事業活動の縮小等による影響を受けた可能性も考えられるものの、その要因を特定するには至らなかった。これらの点から、今回の宇治市及び久御山町における確定水量の変動をもたらした原因の特定は困難である。
- ・流量計測に問題がなく、確定水量の変動原因の特定も困難であることを踏まえると、確定水量を見直す技術的・客観的な根拠はない。
- ・流量計点検時の計測誤差は正負両方あるが、長期間では概ね相殺されており、宇治市が仮定した方法で、特定の期間だけを流量補正し、負担金を見直すことは合理的とはいえない。

- ・なお、流量計測に重大な不備は見つからなかったが、同様の疑義の再発を防止するため、府は市町への流量計測情報を速やかに提供できるように努め、より高精度な流量計の導入の可能性や流量計点検頻度の見直しの検討を行う等、流量計測の信頼性をさらに高めるための取組を行うとともに、継続した無収水量対策については関係市町と共同で進められたい。

京都府流域下水道事業経営審議会調査部会  
部会長 田中 宏明

#### (参考) 用語

- ・無収水量：雨天時浸入水、地下水、捕捉されていない利用者からの排水等、有収水量と確定水量に差が生じる要素となる水量
- ・有収水量：市町が利用者から料金徴収できる下水道使用量